

令和6年度第2回 柏市文化財保護委員会 会議録

◇開催日時

令和7年2月21日（金） 10時～11時30分

◇開催場所

パレット柏 多目的スペースA

◇出席者

(委員)

藤井会長、塩澤副会長、金出委員、石神委員、西野委員、山崎委員、

山梨委員、横山委員

(事務局)

宮本生涯学習部長、吉田文化課長、

大滝統括リーダー、江藤担当リーダー、谷口主任、藏野主事、田中主事

◇次第

1 開会

2 教育委員会挨拶

3 報告

- (1) 令和6年度・7年度主要事業報告
- (2) 令和6年度文化財保護事業について
- (3) 手賀教会の染織品の調査について

4 議題

文化財の指定・登録の推進について

◇会議録

3 報告

●次第1から2について進行した後、事務局から各事業の報告を行った。また、以下のとおり担当の委員に補足説明を依頼し、各委員に意見及び質問を求めた。

○補足説明

(1) 令和5年度・6年度主要事業報告

ウ 斎藤家住宅主屋・までや(下田の杜)の登録提案

・斎藤家住宅主屋・までや(下田の杜)の登録提案については、建物が国の登録文化財となることにより、さらに注目され活用されることを期待する。

ク 建造物調査事業について

（ア）建造物調査

- ・建造物調査について 現代寺院建築の調査については、調査によって、柏の近現代化の背景を、寺院を通じて見ることができるのでないかと考えている。

（イ）柏飛行場調査

- ・陸軍柏飛行場については、昨年の調査を通して建物が具体的にどのような姿や配置をしていたかということが見えてきた。今年度は残っている遺構に注目したいと考えている。

（2）手賀庚申塔保存修理工事について

- ・手賀庚申塔保存修理工事については、穴の空いた台石は、穴の内部のモルタルを外せるように修復を行った。他は問題なく事業を完了した。

（4）手賀教会から寄贈を受けた美術工芸品について

- ・手賀教会から寄贈を受けた石版画イコンについて、他例との希少性と出来栄えの比較が必要となる。現段階では価値づけができないというところが課題となる。
- ・染織品については、ヨーロッパの染織史専門の石井美恵先生に基礎調査が必要という知見をいただいた。

○意見

- ・委員からは手賀庚申塔保存修理工事について、穿孔された台石は類例のない貴重なものであるとの意見があった。

9 議題

（1）文化財の指定・登録の推進について

- 文化財の指定・登録の推進について事務局から指定・登録候補資料の一覧及び指定・登録基準について説明を行い、各委員に意見を求めた。

○意見

- ・委員からは、指定・登録候補資料については、旧石器時代や縄文時代は柏市が輝いた時代であり、これらを代表するような指定候補があるとよいということや、各時代に候補となりうる資料があるということ、指定候補の価値づけを行うことが望ましいとの意見があった。

- ・委員からは、指定基準は必要であるという意見が多く、行政に対して説明を求

められた際に、根拠として求められるという意見や、運用については内規で考えていくべきという意見があった。

○結果

・各委員の意見を踏まえ、事務局で千葉市の指定基準をもとに柏市の指定基準案を作成し、指定・登録候補物件については抽出及び指定・登録を進めていくこととなった。

（2）東海寺附属施設、染谷幸四郎家の国文化財登録の提案

事務局から各建造物の国文化財登録について説明を行い、今後登録の手続きを進めていくことを各委員が了承した。

—以上で審議を終了した。—

◇傍聴者

0名